

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



女子個人 57kg級決勝＝
法島（左）が技ありを決める



個人戦・表彰式で賞状を授与

第47回全国高等学校柔道選手権大会

第47回全国高等学校 柔道選手権大会



男子団体 埼玉栄（埼玉）が連覇



第47回全国高等学校柔道選手権大会が3月19・20日、日本武道館で開催され、男子団体・女子団体・男子個人・女子個人（個人戦は各5部門）が行われた。

※詳細は、今月のニュース（116ページ）をご覧ください。



女子団体 大牟田（福岡）が悲願の初優勝



男子
団体

埼玉栄（埼玉）が 2年連続春の頂点へ！

第47回 全国高等学校 柔道選手権大会



男子団体決勝・大将戦＝埼玉栄・坂口（右）が技ありを取った

第47回全国高等学校柔道選手権大会（主催Ⅱ全日本柔道連盟）が3月19日（個人戦）・20日（団体戦）に開催された。

男子団体戦の決勝は前回大会優勝の埼玉栄（埼玉）が制し、女子団体戦は、大牟田（福岡）が初優勝を飾った。男子個人無差別級では三木清夢（千葉・木更津総合）が、女子48kg級では井上愛翔（徳島・生光学園）がそれぞれ2連覇を果たした。

■団体戦（20日）

試合は、男子が体重無差別の5名編成による点取り試合、女子が3名の体重別（先鋒Ⅱ52kg以下、中堅Ⅱ63kg以下、大将Ⅱ無差別）による点取り試合のトーナメント方式で行われた。

○男子

試合は56チームが出場。男子決勝は、2連覇を狙う埼玉栄と前回大会3位の大成（愛知）との対戦。

●決勝

埼玉栄（埼玉） 大成（愛知）

新井葵大 引分 藤田斗真

井桁睦稀 引分 吉田征矢

女子 団体

大牟田（福岡）が初優勝 比叡山の連覇を阻止！



女子団体決勝・大将戦＝大牟田・高橋（左）が果敢に攻める



女子団体決勝・先鋒戦＝比叡山・大井（右）が技ありで先勝



両者決め手を欠いた女子団体決勝・中堅戦

大牟田（福岡） 比叡山（滋賀）
永松優音 技あり◎ 大井彩蓮
南野帆乃夏 引分 森田七海
高橋南乃 ○反則負 林 桃
先鋒戦は、比叡山・大井が大外刈で技ありを奪い、そのまま優勢勝ち。続く次鋒戦は引き分け、後がない大牟田。大牟田・高橋は果敢に攻め続け、林が反則負けとなり、大牟田は悲願の初優勝を飾った。

●決勝
優勝を狙う大牟田と連覇を狙う比叡山（滋賀）との対決。

○女子
試合は51チームが出場。決勝は初優勝を狙う大牟田と連覇を狙う比叡山（滋賀）との対決。

田中琉雅 引分 水道啓人
渡邊蒼織 引分 時田開仁
坂口 隼 ◎技あり 栗栖秀忠
先鋒から副将まで4試合連続で引き分けが続き、勝負は大将に託された。大将戦、埼玉・坂口は182cm・108kgに対し、大成・栗栖は184cm・100kgと両者互角の体格。
試合時間残り約40秒に試合は動いた。坂口は栗栖の帯をガッチリと掴んで投げると技ありを取った。坂口は勢いそのまま優勢勝ちを収め、埼玉が連覇を果たした。



男子個人 81kg級決勝＝佐藤（左）が内股で一本



男子個人 66kg級決勝＝嶋貫（右）が優勢勝ち



男子個人 73kg級決勝はG Sまでもつれた

■個人戦（19日）

男女とも体重別4階級と無差別級の計5部門で、トーナメント方式で争われた。試合時間は3分間、時間内で勝負が決しない場合は、ゴールデンスコア（以下、G S）によって争われた。

○男子

▽60 kg級

決勝は、池内雷基（栃木・白鷗大足利）と内山留偉（千葉・千葉経済大附）の対戦。試合中盤、池内が技ありを取って勝利。前回大会3位の雪辱を果たした。

▽66 kg級

決勝は、嶋貫蓮（東京・足立学園）と安岡快晟（高知・岡豊）の顔合わせ。嶋貫が終始攻め続け、僅差（指導差2以上）で優勢勝ちを収めた。

▽73 kg級

決勝は下馬評通り、1年生時インターハイ2位の横尾優空（東京・修徳）と全中王者の三ツ石恵翔（神奈川県・東海大相模）の戦いとなった。両者攻めあぐね、ともに指導二つを有する中でG Sへ。G S 3分59秒、三ツ石が偽装的な攻撃による指導で

指導が三つとなり反則負け。横尾は一本で優勝を果たした。

▽81 kg級

決勝は、関東選抜大会を制した佐藤光晟（東京・国土館）と前回大会3位の川合遼（静岡・静岡学園）との顔合わせ。開始57秒、佐藤は川合の奥襟を左手でしっかりと掴み、内股を華麗に決めて一本勝ち。

▽無差別級

決勝は、前回大会優勝の三木清夢（千葉・木更津総合）と時田開仁（愛知・大成）の対戦。試合中盤、三木は大外刈で技ありのポイントを取る。時田の激しい攻めを凌ぎきり三木が連覇を果たした。

○女子

▽48 kg級

決勝は、前回大会優勝の井上愛翔（徳島・生光学園）と若林美優（千葉・木更津総合）の戦い。両者技の決め

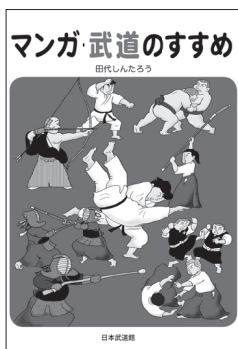


マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授
田代しんたろう 著

柔道は、大澤慶己、長谷川博之、腹巻宏一
吉村和郎、山内直人の5氏を掲載！

大人も子どもも読んで読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。



B5判・236頁

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課まで
TEL 03-3216-5147



女子個人 48kg級決勝＝井上（左）がGSでの技ありで連覇を達成

手を欠き、井上指導2、若林指導1でGSへ。後がない井上は果敢に攻め立て、技ありを取って優勢勝ちを収め連覇を達成した。

▽52kg級

決勝は、岡元遥樺（佐賀・佐賀商業）がGS開始19秒、前回大会2位の大井彩蓮（滋賀・比叡山）から技ありを奪って優勝した。

▽57kg級

決勝は、法島颯（佐賀・佐賀商業）と赤尾優美香（東京・国士舘）の対戦。激しい攻防を繰り広げた両者だが、法島指導1、赤尾指導2でGSとなった。後がない赤尾は攻めるが、GS1分30秒に法島が技ありを奪い試合終了。

▽63kg級

決勝は井田実来（埼玉・埼玉栄）と前回大会3位の織茂永愛（神奈川・桐蔭学園）の組み合わせ。試合は激しい組手争いが繰り広げられ、井田指導2、織茂指導1となりGSへ。GS1分17秒、井田が技ありの優勢勝ちで初優勝を飾った。

▽無差別級

決勝はインターハイ70kg級で優勝の高橋南乃（福岡・大牟田）が2階級の全国制覇を目指し、対する相手は関東選抜78kg級王者の勝又美涼（山梨・富士学苑）。開始1分35秒、高橋が大内刈で一本を決めて勝利した。